

平成28年度第3回理事会議事概要

日 時 : 平成28年6月10日(金) 16:00～16:40

場 所 : 森林総合研究所特別会議室

出席者 : 理事長 沢田 治雄

理事(企画・総務・森林保険担当) 桂川 裕樹

理事(研究担当) 田中 浩

理事(育種事業・森林バイオ担当) 渡邊 聡

理事(森林業務担当) 奥田 辰幸

理事(法令遵守担当) 三木 眞

監事 鈴木 直子

監事 平川 泰彦

総括審議役 上野 司郎

総括審議役 大貫 肇

総括審議役 國井 聡

審議役 河野 晃

企画部長 高橋 正通

総務部長 松本 寛喜

1. 開会

2. 議事

(上野総括審議役)

ただいまより、平成28年度第3回理事会を開催いたします。本日は議題1件と報告事項が5件となっております。順次説明をお願いいたします。

I－1. 中期計画、年度計画に係わる自己評価書の提出について

(高橋企画部長)

平成27年度に係る業務の実績に関する自己評価書及び中期目標の期間における業務の実績に関する自己評価書について作成しております。今後のスケジュールといたしましては、この理事会での決定を経て、農林水産省に提出いたします。その後、7月15日に農林水産省において研究開発法人審議会の林野部会が開催される予定です。

8月上旬に平成27年度年度評価の通知、同月中旬には第3期の期間評価の通知が出されるものと思われます。

(上野総括審議役)

特段の修正意見等はないようでございますので、この理事会を経て農林水産大臣に提出する手続きを進めさせていただきます。

II－1. 職員採用スケジュールについて

(松本総務部長)

平成29年度における新規採用、研究・育種分についてでございます。一般職員につきましては採用予定日が平成29年4月1日、試験方法につきましては当所の独自試験により行いたいと考えております。配属予定は本支所等でございます。

公募開始から内定通知までのスケジュールでございますが、内定通知につきましては、国家公務員一般職（高卒程度）の最終発表が11月15日でございます。また地元の茨城県は11月9日、つくば市も11月上旬ということで、だいたい国、地方公共団体の内定が11月になって発表されますので、これらに合わせる形で11月上旬に内定通知としております。

研究職員につきましても基本的には同じ考え方でございます。ただし、試験方法につきましては書類審査、スケジュール等についてはだいたい同じという形で進めたいと思っております。

Ⅱ－２．機構発足に向けた課題への対応について

（上野総括審議役）

第２回の理事会で当法人に係る法律の制定についてご説明したところでございますが、同法律が５月２０日に公布されまして平成２９年４月１日から施行されることになりました。このため２９年度への円滑な移行に向けまして、組織として体制を整え、法人ガバナンス、規程、広報等広範な検討を行うことにいたしました。

具体的な実施体制でございますが、理事長の下、各理事に諮りつつ企画・総務・森林保険担当理事に総括していただきます。事務局は、本所の総括審議役の下で総合調整室が担当いたします。各センターとの連絡調整窓口は本所の総括審議役が担当いたします。組織横断的プロジェクトチームを編成して検討するということで、総括審議役がチーム長、総合調整室長が副チーム長、監査室、コンプライアンス推進室、総合調整室、企画部、総務部の中から５名のチーム員を選抜しまして、また林木育種センター、森林保険センター、森林整備センターの窓口として各１名ずつ設けさせていただいているところでございます。この各センターの窓口を加えた１回目のプロジェクトチーム会議を６月８日に行いましたことを併せてご報告いたします。

（鈴木監事）

法人ガバナンスや規程類、広報資料といったことはわかりますが、その下の具体的な項目としては何かありますか。

（上野総括審議役）

今回の法律の中身としましては、法人の名称が変わったということと、従来附則に位置付けられていた水源林事業を本則化するとともに同事業に育成途上の森林の整備の事業を加えたということが大きな中身だと考えております。このように今回、研究・育種保険、水源林と名実ともに一体となった訳ですから、まず法人の形、態様をどうするか、その次に全体のガバナンスをどのようにもっていくか、そこが基本だと考えてございます。それが決まりますと、全体を運営する会議の持ち方ですとか、あるいは広報のあり方ですとか、そういうことが自ずと決まってまいりますので、そうした項目に係る作業を各センターと連絡調整しながら進めてまいりたいと考えております。

Ⅱ－３．平成２８年度リスク管理の実施について

（上野総括審議役）

５月２０日（金）に開催しました平成２８年度リスク管理委員会の概要をご報告致します。

当日の議題は、リスク管理規程にございます委員の指名、平成２７年度第２回リスク管理委員会議事概要のご報告、平成２８年度リスク管理計画における重点リスクの審議、平成２８年度の実施スケジュールであり、これらについてご議論いただきました。

1つ目の委員の指名につきましては提案どおり、林木育種センター河野審議役並びに森林整備センター川野審議役の両名を承認いただいております。

平成27年度の議事概要につきましては、PDCAサイクルを確保するために取り組み結果の取りまとめに留意すべきとの意見が出され、28年度のものについて取り組むこととなりました。

平成28年度リスク管理計画における重点リスクについては、昨年度の項目を基本としつつ平成28年度を始期とする中長期計画の記載内容も勘案した形で作成された案についてご審議いただき、原案どおりご承認いただきました。昨年度との変更点は、各リスク管理実施責任者がリスク因子の特定及び評価をもとにリスク対応が進められるように、計画票にリスク因子のキーワード欄と関連する法令等欄を追加した様式を、標準例としたということでございます。

平成28年度の実施スケジュールに関しましては、事務局提案に対しまして、決定リスク対応方針のリスク管理委員会メンバーへの報告について追記すべきとの意見が出され、それを反映した形で承認されたということでございます。

Ⅱ－４．森林整備センターの平成28年度春の地域活動について

(奥田理事)

森林整備センターにおきましては、水源林の重要性あるいは水源林造成事業の役割等を広く国民にPRするという観点から様々な取り組みを行っているところでございます。

特に春と秋に多くの取り組みを行っておりますので今年の4月から6月までの取り組みについてご紹介させていただきたいと思っております。代表的なところ3点について資料を添付させていただいておりますので、それについてご紹介いたします。

ひとつは高知県の梶原町、高知水源林整備事務所の取り組みでございます。4月29日(金)に「梶原町森林ボランティア協働の森づくり事業」に参加いたしました。当事務所による安全面のサポートあるいは伐採の作業指導等をやらしていただいて、具体的には現地の天然萌芽林の整理伐作業を行ったところでございます。

次は富山水源林整備事務所の取り組みでございます。5月22日(日)に「第17回とやま森の祭典」に参加をさせて頂いたということでございます。少年団あるいは森林ボランティア、農林漁業関係者ら約3千人のご参加をいただいたところでございます。当所ではパネル展示、丸太切り競争、木製コースターを使った木工教室、木偏の漢字当てクイズ等々を行ってPRをさせて頂きました。

最後に、今後の予定になりますが、丹波ひかり小学校で「森林教室」を開催予定でございます。取り組みは近畿北陸整備局でございます。こちらは平成23年11月に、『国際森林年「みんなで創る水源の森林」植樹祭』を実施しました。これを契機に、近畿北陸整備局、森林総合研究所関西支所及び京丹波森林組合の3者が共同で森林教室を開催しております。今年につきましても丹波ひかり小学校児童40人を対象に森林教室を6月24日(金)に実施する予定でございます。

(鈴木監事)

このようなイベントの開催について、支所と整備局同士が連絡を取り合ったりしているのですか。

（奥田理事）

今回の場合は契約地で植樹祭を行ったのが契機となって、その時参加していただいたメンバーで今後も引き続き何か出来ないかということで森林教室の開催に繋がっております。今後も共同でできるところは共同で行って参りたいと思っております。

5. 熊本地震関連について

（高橋企画部長）

当所で行った熊本地震調査についての報告でございます。当所の山地災害の専門家が阿蘇周辺の被害状況を調査した報告になります。崩壊の状況は地点により様々ですが、それらの様子について研究的なデータを取りつつ現地の視察をして参りました。

今回の土砂災害の特長といたしましては、今後、豪雨による斜面災害が繰り返し発生するということが考えられますので、これからも心配な点があるということ、そして外輪山の中央火口丘という非常に急な斜面で崩壊が見られるので、これについても注視する必要があるということです。今回の崩壊は、過去に発生していた豪雨による崩壊に比べてかなり大規模であり、その後も非常に不安定な状況が続いておりますので長期的なモニタリングや危険度評価が必要、というようなことが報告されております。

建物につきましては、第1期 5/11～5/12、第2期 5/19～5/21と調査隊を派遣しております。第1期では周辺建築物についての状況調査、第2期においては当所の建物についての集中的な調査を行って今後の対応策を検討したところでございます。今後も調査を継続して参ります。

（鈴木監事）

このような現地調査に行くときは、例えば、おそろいの森林総合研究所という名前の入った服装で行っているのですか。

（高橋企画部長）

ヘルメットに森林総合研究所と入ったものと腕章を付けて、調査に入っているということが分かるようにしております。

（上野総括審議役）

本日の報告事項は以上でございます。

これで平成28年度第3回理事会を終了いたします。

次回の平成28年度第4回理事会は7月8日（金）に開催予定です。

また、第5回理事会は8月5日（金）に林木育種センターにおいて開催予定です。

3. 閉会